

I N F O R M A T I O N

■ 附属博物館／附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール予定

<附属博物館>

●『京都嵯峨芸術大学収蔵品展 雛と京の玩具』

2009年4月2日(木)～18日(土) 10:00～17:00 日曜休館

本学教授であった林司馬先生より寄贈いただいた雛人形や、新しく収蔵した雛人形、京都の郷土玩具を展示します。

●『嵯峨大念仏狂言展』

2009年5月16日(土)～31日(日) 10:00～17:00 月曜休館

嵯峨清涼寺の大念仏会で行われる狂言の衣裳や面などを嵯峨大念仏狂言保存会の協力により展示します。

●『京都嵯峨芸術大学の先人達 第2回 奥村厚一 素描画展』

2009年6月20日(土)～8月2日(日) 10:00～17:00 月曜休館 7/20は開館、7/21は休館

本学教授であった奥村厚一先生の素描画(本学所蔵)を中心に展示します。

<附属ギャラリー アートスペース嵯峨>

●『京都嵯峨芸術大学 コレクションギャラリー2009～2007～2008新収蔵作品を中心に～』

2009年4月8日(水)～5月2日(土) 10:00～17:00 日曜祝日休館

2007～2008年度に新しく寄贈を受けた作品と本学収蔵品の中から版画・油彩画を展示します。

●『新谷かおる、河井リツ子、安齋レオ 三人展』 ※豊中市協力

2009年5月19日(火)～30日(土) 10:00～17:00 日曜休館

豊中市出身のクリエイター 3人による作品展。河井リツ子氏、安齋レオ氏は本学卒業生です。

●『観光ポスター展』

2009年6月4日(木)～17日(水) 10:00～18:00

社団法人日本観光協会が毎年実施している、日本観光ポスターコンクール展で選ばれた観光ポスター約50作品をパネル展示します。

●『日本画作品展 造形学科日本画研究室』

2009年7月14日(火)～20日(月) 10:00～18:00

日本画 3・4 回生による作品展。

○お問い合わせは博物館・ギャラリー課まで

TEL:075-864-7898 FAX:075-882-7770 E-mail:museum@kyoto-saga.ac.jp

■ 本学関係者による展覧会情報

・江村耕市／メディアデザイン

『それぞれのコラージュニッキ』 4月8日(水)～4月12日(日) VOICE GALLERY pfs/w(京都)

・日野田崇／陶芸

『日野田崇展-アレゴリーの暴発』 4月1日(水)～4月25日(土) INAXギャラリー2(東京)

『アートフェア東京』 4月3日(金)～4月5日(日) 東京国際フォーラム(東京)

『個展』 5月16日(土)～6月13日(土) イムラアートギャラリー(京都)

・吉水絹代／染織

『日本新工芸展』 5月13日(水)～5月24日(日) 国立新美術館(東京)

・兼先恵子／染織

『日本新工芸展』 5月13日(水)～5月24日(日) 国立新美術館(東京)

■ 京都嵯峨芸術大学公式サイトのご案内

「KSUA ART PROJECT」展開中!

京都嵯峨芸術大学公式サイトにて

最新の大学情報をご覧くださいませ。

<PC> <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

こちらのQRコードを使って、
携帯サイトにアクセスする
ことも出来ます。



■ 大学行事予定

連続公開講座 「京の美意識」スケジュール

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知恵や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍されておられる講師をお招きして、ご講演いただいています(参加無料)。また、過去の講演録も販売しています(一冊千円)。

○第42回4月25日(土)

「京の訪問とおもてなしの作法」

岩上力<儀式作法研究者>

○第43回5月23日(土)

「京都の時代劇映画考」

山内鉄也<映画監督>

○第44回6月27日(土)

吉岡幸雄<染織史家>

○第45回9月26日(土)

「京商家の食文化に学ぶこと」

杉本節子<財)奈良屋記念杉本家保存会事務局長・料理研究者>

○第46回10月24日(土)

「宗教建造物装飾彩色の美」

仲政明<本学准教授>

○第47回11月21日(土)

「自然を内包する京の感性」

井上隆雄<写真家>

○第48回12月19日(土)

「京真田紐の秘密と使い方」

和田伊三男<京真田紐師>

○第49回2月20日(土)

「神主残酷物語」

佐々木俊輔<平岡八幡宮宮司>

○第50回3月13日(土)

「嵯峨鳥居本と平野屋の歩み」

井上典子<平野屋女将>

※いずれの回も14:20～有響館G401教室にて(参加無料)。お申込み・お問合せは文化事業部まで。TEL.075-864-7898

京都嵯峨芸術大学広報

第 28 号

2009年4月1日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 総務部 広報室

発行●学校法人大覚寺学園京都嵯峨芸術大学

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL.075-864-7859

FAX.075-881-7133

info@kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨 芸術大学 広報

KYOTO SAGA

UNIVERSITY OF ARTS

PUBLIC RELATIONS

VOL.28

APRIL 2009

Contribution

素直に生きよう

大覚寺学園 理事長 黒髪寛延

大学での日々、かけがえのない時間

京都嵯峨芸術大学 学長 三好郁朗



News

学園創立40周年記念事業報告

大学報告 第37回制作展を開催／2009年度運営体制／教員人事／職員人事／耐震診断報告／2009年度入試結果報告／2008年(平成20年)度卒業式



Topics

教員・在学生の活躍

学生自主企画プロジェクト「one room」開催!／本学観光デザイン学科の学生が絵画大賞展で『大賞』を受賞!／太秦ヌーヴェルヴァーグプロジェクトが上映／車座シンポ2009報告

博物館・ギャラリー報告

インフォメーション

平成21年度生涯学習講座受講生 募集中!



Information

附属博物館／附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール予定

本学関係者による展覧会情報

京都嵯峨芸術大学公式サイトのご案内

連続公開講座「京の美意識」





素直に生きよう

大覚寺学園 理事長 黒髪寛延

新入学の皆さん、ようこそ「京都嵯峨芸術大学」へ。
本大学は昭和46年に、いけばな嵯峨御流の総司所である真言宗大覚寺派・旧嵯峨御所「大本山大覚寺」によって創立されました。お寺が芸術系の大学を設立したことを奇異に思われる方が多いのではないのでしょうか。

およそ1200年前、嵯峨天皇が皇后との新居として造営した「嵯峨離宮」が、その後寺に改められ「大覚寺」と号されました。嵯峨天皇は、唐から帰国したばかりの弘法大師・空海をたびたび離宮に招いて、当時最先端の文化芸術について語り合っただけでなく、高誼を重ねられたといわれています。

学園の教育憲章に「大覚寺が始祖と仰ぐ嵯峨天皇ならびに宗祖弘法大師の思想と実践に学ぶ」とあります。ではその弘法大師の思想の一端を見てみましょう。

弘法大師が開かれた真言宗は、仏教の中でも特に「密教」と呼ばれています。その密教の根本教典の一つに、一般には「大日経」といわれる教典があり、

によつちじしん
『如実知自心』

—— 実の如く自心を知る

という有名な言葉があります。悟りを得た完全な人間になるためには「ありのままの自らの心を知る」ことが肝要で、真実の自分とは?を見つめることが大切だということです。

加えて、私はもう一つ大事な意味があると信じています。それは「自」という文字は「みずから」という読みと「おのずから」という読みがあります。「おのずから」とは人間の意志に関係のない現象のことです。「おのずから」は「みずから」の力が及ばない自然のことです。つまり「如実知自心」には、大自然の心を知りなさいという意味も含まれていると思うのです。私たちを包み込んでくれている大自然の、いわゆる「宇宙」の大きな心を知り、その中で生かされている自分に気がつきなさいということでしょう。

混沌とした世相の今、自らの居場所を失って悩みもがき苦しんでいる方が大勢います。学生諸君の中にも、みずからの思いとの違いから学業や創作活動で行き詰まったり、人生の目的や自身の存在価値を見いだせずに悩み苦しむことがあるかも知れません。そのようなときにはちょっと立ち止まって見てください。「みずから」を意識しすぎて「おのずから」に背いていないか。悩み抜き考え抜いて試行錯誤し最大限の努力することは大事です。しかし「みずから」の力には人それぞれに限界があり、人知が及ばない「おのずから」の大きな力があります。精一杯の努力をしても結果が出ないときは自分の限界だと諦め、自然の成り行きに任せてみてはいかがでしょう。きっと「おのずから」の心が語りかけてくれ、いつしか「素直になっている自分」に気がつくはずですよ。

桜花の訪れとともに入学、進級を迎えたみなさん、新たな期待にさぞ胸はずませていることでしょう。心から応援の思いを贈ります。

本学は真言宗大本山大覚寺のご縁に深くつながる学園です。真言宗の開祖である弘法大師空海は、わが国最初の庶民のための高等教育機関「種芸種智院」を開設したことで知られますが、その校則には、そこが真理を求めるところであることが謳われ、そのためにも、教育環境の整備、総合的な人間教育、優れた教師陣、経済的な基盤の四つが、欠くことのできない条件だとされていました。

わたしたち京都嵯峨芸術大学も、諸君の人間の成長にとって不可欠な教育環境を提供し、芸術教育を核としながらも、広範かつ総合的な人間教育をめざしています。多くの優れた先生方の中から、かならずや諸君にとっての生涯の師が見つかることでしょう。そうした大学の営みは、みなさんが収めてくれる学費はもちろん、さまざまな公的支援、さらには本学で学び巣立っていった先輩たちの残してくれた有形無形の財産によって支えられています。そうした環境で、それぞれの美意識の涵養を求め、人間とその社会について学ぶ日々、それが諸君の人生にとってかけがえのない時間になることを願ってやみません。

もともと、大学ですごす年月は、諸君の生涯でもっとも多情、多感な日々でしょうから、

楽しいばかりではすまないかもしれません。自分の行くべき道はどこにあるのか、そもそも自分は何者であるのか、そうしたことがなかなか見えてこず、苛立ち、屈折した想いに沈んだり、悩んだりすることも少なくないでしょう。若いということは、そうした心の奥底の感覚を手探りし、なんとか言葉にあらわしたい、行動で表現したいと、もがき苦しむ、そういう時間でもあるからです。

谷川俊太郎に「うつむく青年」という詩があります。何かに悩み、うつむき、背中をひそかな自己主張をしている、そういう若者の姿を見るたびに、私はこの詩を思い出すのでした。

「うつむいて／うつむくことで／君は自分を主張する／君が何に命を賭けているかを（…）／うつむくことで／君は私に否という／否という君の言葉は聞こえないが／否という君の存在は私に見える」

悩んでください、否と言ってください。それこそ若さを生きるということでしょう。それによって、自分の心の奥に何があるのか、少しずつ見えてくるのではないのでしょうか。諸君の目がほんとうの自分に向かって開かれるとき、見えてくるものは何か、わたしたちはそのことに期待を寄せて教育にたずさわっています。谷川の詩は、最後にこうつづきます。

「うつむいて／うつむくことで／君は生へと一歩踏み出す／初夏の陽はけやきの老樹に射していて／初夏の陽は君の頬にも射していて／君はそれに否とはいわない」

大学での日々、 かけがえのない時間

京都嵯峨芸術大学 学長 三好郁朗



大学報告

第37回制作展を開催

卒業・修了制作展

2月4日(水)～2月8日(日)の5日間、京都市美術館において、京都嵯峨芸術大学ならびに同短期大学部、同大学院の卒業・修了制作展を開催しました。学生生活の集大成ともいえる充実した作品がならび、5,000名近くの方々に来場いただき、盛況のうちに終えることができました。

なお、開催期間初日に、優秀作品として各賞を選定しました(右の一覧参照)。受賞者は、3月19日の卒業・修了証書授与式に先立って行われる授賞式で表彰されました。



京都市美術館での卒業・修了制作展風景

進級制作展

卒業・修了制作展と同期間中、本学校内では、芸術学部2・3回生と短期大学部1回生の進級制作展を開催し、900名近くの方々にご来場いただきました。授業における課題作品や、自由制作作品がキャンパス各所で展示され、普段とは違った雰囲気気が大学を包みました。



本学での進級制作展風景

第37回 制作展 受賞者一覧

大学院・芸術学部

学長賞	造形学科版画分野	林美美	心はどこへ消えた 去勢 葬列 覚醒 黒く光る、刎ねる
芸術研究科賞	芸術研究科造形絵画分野	森本有佳	韓国通度寺霊山殿壁画 復元模写
芸術学部賞	造形学科彫刻分野	多田舞	Imagine
芸術学部賞	観光デザイン学科	岡田考博	Design:ORCHESTRA
大覚寺賞	芸術研究科造形絵画分野	宮澤光太	深淵涼涼
教育後援会奨励賞	造形学科日本画分野	中西梨香	軍鶏四体「斥候」「肅然」「自負」「羨望」
教育後援会奨励賞	造形学科油画分野	清水俊輔	Yでスピニングしている上野駅と僕
教育後援会奨励賞	造形学科版画分野	加藤玲子	なんだか創造しい
教育後援会奨励賞	造形学科メディアアート分野	久木田春香	触れて
教育後援会奨励賞	造形学科彫刻分野	岡本祐輝	Hysterie Children
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科	左野圭	きかいななかまたち
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科	林京子	ごはんのおとも かるた
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科	真野悠	karoku (カアロク) — にしのしまの本一
同窓会賞	造形学科油画分野	吉井愛	STRAWBERRY GIRL
同窓会賞	造形学科メディアアート分野	古川かおり	haiku
同窓会賞	観光デザイン学科	西出真弥	“1”～いろんなひとつ、みんなひとつ～

短期大学部

学長賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	安田昌弘	「桃源郷」
美術学科賞	美術学科美術分野洋画	古澤明日香	Xrays
美術学科賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	景山香央里	Choco Kuma
専攻科賞	専攻科美術専攻	橋本満智子	青が咲く時
大覚寺賞	美術学科美術分野日本画	菊地麻衣子	もう少し
大覚寺賞	美術学科デザイン分野プロダクトデザイン	中野真理絵	Doress
大覚寺賞	専攻科美術専攻	北島あゆみ	Pitamaha
教育後援会奨励賞	美術学科美術分野日本画	妹尾夢子	待つ
教育後援会奨励賞	美術学科美術分野洋画	河岸菜実	天使の集う森
教育後援会奨励賞	美術学科美術分野ミクストメディア	比企香織	The space that transforms—子供時代の服からの展開、現在へ～
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野グラフィックデザイン	上本佳波	和菓子のパッケージとポスター
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野グラフィックデザイン	藤本綾香	介助犬ルーファス
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	榎本愛	Wonderful
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	田村美紀	リッチくん一家とお星さま
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	鷲尾侑紀	机の上のさかしもの
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	野村美幸	ユメクイ
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野インテリアデザイン	能村知佳	嵐山之路
教育後援会奨励賞	美術学科デザイン分野プロダクトデザイン	横田亜矢子	ハコ☆ロボ
教育後援会奨励賞	専攻科美術専攻	佐藤由里子	だちょう八態図
教育後援会奨励賞	専攻科デザイン専攻	松井彩香	素材をどのように生活道具にしていけるかの実験。ホースの中を通る光の屈折・分散そして集合体。
同窓会賞	美術学科美術分野ミクストメディア	岡下都和	Agriculture will save the earth
同窓会賞	美術学科美術分野ミクストメディア	長真奈美	家族写真
同窓会賞	美術学科デザイン分野グラフィックデザイン	森田愛	感謝
同窓会賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	佐野夏樹	「いろいろ絵本」
同窓会賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	田中美希	破片
同窓会賞	美術学科デザイン分野イラストレーション&マンガ	川崎ちぐさ	指斬り童子
同窓会賞	専攻科デザイン専攻	坂田祐子	cache-cache <カシユ カシユ>

2009年度運営体制

2009年度の各種運営、教学、附属施設、研究機関の体制が、下記の通り編成されました。(2009年4月1日付)

執行部体制(教授会運営協議会)	
学長	三好 郁朗 教授
芸術学部長	箱崎 睦昌 教授
短期大学部長	北村 正己 教授
教務部長	宇野 和幸 教授
学生部長	坂田 岳彦 准教授
入試部長	増田 洋 教授
文化事業部長	三好 郁朗 教授(兼務)
総務部長	午居 隆平 事務局長(兼務)

教学体制	
造形学科長	宇野 和幸 教授(兼務)
メディアデザイン学科長	三宅 章介 教授
観光デザイン学科長	真板 昭夫 教授
大学院研究科長	箱崎 睦昌 教授(兼務)
美術学科長	藤本 秀樹 教授
専攻科長	北村 正己 教授(兼務)
講義部門長	佐藤 文郎 准教授
美術部門長	北村 正己 教授(兼務)
デザイン部門長	藤本 秀樹 教授(兼務)
企画室長	佐野 仁志 教授
広報室長	松本 泰章 教授
文化事業室長	芳野 明 准教授
学生相談室長	清瀧 裕子 准教授

附属機関、研究機関体制	
図書館長	佐々木 正子 教授
博物館長 (ギャラリー兼務)	加藤 明子 教授
芸術文化研究所長	佐々木 正子 教授(兼務)
観光デザイン 研究センター所長	真板 昭夫 教授(兼務)

また、学園40周年記念事業室長に増田洋氏が重任されました。

教員人事

【退職】

(2009年3月31日付)
下記の方が退職されました。

林 潤一(芸術学部造形学科教授)
池田 八栄子(芸術学部造形学科教授)
土手 朋英(短期大学部美術学科教授)

【新任】

(2009年4月1日付)
下記の方が採用されました。

林 潤一(芸術学部造形学科教授・特別任用教員)
土手 朋英(短期大学部美術学科教授・特別任用教員)

【昇任】

(2009年4月1日付)
下記の先生方が准教授に昇任されました。

山本 直樹(芸術学部造形学科)
清瀧 裕子(短期大学部美術学科)

【昇任】

(2009年4月1日付)
下記の方が昇任されました。

小澤 昇士(事務局次長
教務部教務課長兼務)
土井 準一(教務部教務課係長)
小川 範子(文化事業部文化事業課主任)

【異動】

事務局の異動が実施されました。
(2009年4月1日付)

事務局人事(カッコ内前職)	
文化事業部文化事業課長 図書館課長兼務	三宅 一穂 (文化事業部文化事業課長 博物館ギャラリー課長兼務 芸術文化研究所課長兼務)
総務部総務課長	新谷 隆寿 (学生部キャリア支援課長)
総務部経理課長	森野 茂 (総務部総務課長)
学生部キャリア 支援課長	川西 誠 (総務部経理課長)
教務部教務課員	中島 健三 (学生部キャリア支援課員)

職員人事

【退職】

(2009年3月31日付)
下記の方が退職されました。

淀川 裕美(図書館課長)
神原 滋(記念誌編集室)

【再雇用】

(2009年4月1日付)
下記の方が定年退職後の再雇用制度により採用されました。

神原 滋(文化事業部文化事業課・嘱託職員)

耐震診断報告

本年1月から開始しました実習A棟、実習B棟、講堂棟(C棟)の耐震診断は、現地建物の調査と図面調査を終え、さらにデータの解析を行っていきます。今後提出される診断報告書に基づき、耐震補強計画の策定へと進んでいくこととなりますが、詳細については、この誌面で改めてご報告いたします。

2009年度入試結果報告

昨年8月のAO入試体験授業から始まった2009年度入試も、3月をもって全日程を終了しました。2009年度入試では、芸術学部一般入試(前期)において文章表現テストを追加、また新たに3月にプレゼンテーション入試を実施するなど合格のチャンスを増やしました。芸術学部では志願者総数489名中、合格者は341名、短期大学部

では志願者総数204名中、合格者は182名という結果に終わりました。特徴としては、AO入試の受験者が昨年より増加したことが挙げられます。

2010年度入試に向けて、短期大学部の実技試験科目の見直しなどを予定しています。試験の詳細については、5月に完成予定の大学案内にてご確認ください。

2008年(平成20年)度 卒業式

2008年度京都嵯峨芸術大学および京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業証書・学位記授与式、ならびに修了証書授与式を本学名誉学長、大本山大覚寺下泉恵尚門跡下のご臨席のもと、2009年3月19日(木)に執り行いました。卒業・修了者数は以下の通りです。

○京都嵯峨芸術大学	
大学院 芸術研究科	8名
芸術学部 造形学科	97名
観光デザイン学科	53名

○京都嵯峨芸術大学短期大学部	
専攻科	45名
美術学科 美術分野	46名
デザイン分野	134名
計	383名



ご法楽



卒業式会場風景



理事長挨拶



学長挨拶

TOPICS

教員・在学生の活躍

学生自主企画プロジェクト「one room」開催!

2009年2月4日(水)～2月13日(金)の期間、本学学生の自主企画・運営による展覧会「one room」が今年も本学にて開催されました。本企画は学内のアパートメント形式のクラブボックス(部室)をそれぞれの個展会場に見立て、1室につき1組の作家が作品を展示するもので、今年は学生22組に加え、ゲスト作家として東京を中心に活躍する現代美術作家の木村太陽氏に参加をしていただきました。

本学観光デザイン学科の学生が絵画大賞展で『大賞』を受賞!

本学観光デザイン学科4回生の上島好恵さんが、「第18回全日本アートサロン絵画大賞展」で『大賞』を受賞いたしました。また受賞作品が並ぶ「第18回全日本アートサロン絵画大賞展」が2009年3月3日(火)～3月8日(日)の期間、大阪・天王寺にある大阪市立美術館にて開催されました。

太秦ヌーヴェルヴァーグプロジェクトが上映

本学のメディアデザイン学科が中心となり3年前からスタートした自主映画の製作プロジェクト「太秦ヌーヴェルヴァーグプロジェクト」の二作目が、3月7日(土)、3月8日(日)、京都市中京区の元立誠小学校で開催される『りっせい・キネマフェスタ京都'09』にて上映されまし

た。日本映画発祥の地である太秦エリアの撮影所などでNPO団体と協力して進める「太秦ヌーヴェルヴァーグプロジェクト」は、本学メディアデザイン学科の特徴的なプロジェクトのひとつです。今作は母娘のきずなをダンスを通じて探るという内容で、「ものけ」というタイトルのもと、本学学生の羽瀬絵里奈さんが監督をつとめました。またこの映画には本学の三好学長はじめ、教職員も数名出演しました。

同会場では、本学芸術学部造形学科メディアアート分野、同じく芸術学部メディアデザイン学科、そして短期大学部美術学科ミクストメディアの学生による作品展示もおこなわれました。



車座シンポ2009報告

京都嵯峨芸術大学現代芸術研究会による公開研究プログラムとして、講演者と視聴者が双方向でやり取りができるよう周囲を“車座”状に取り囲む車座シンポが、2009年2月に本学AVホールにて開催されました。これまで、美術におけます重要なメディアとして認知されてきた「写真」表現の今日性とは何か? そしてアートと地域が真に連携する「アート・プロジェクト」の

可能性とは? といったふたつのテーマにしたプログラムを開催致しました。

○『芸術を巡る哲学-写真と映画』
「映像と美術-イメージの思考」
パネリスト:鈴木創士(フランス文学者、美術批評、小説家)、丹生谷貴志(神戸市外国語大学教授、フランス哲学、文芸評論)
日時:2009年2月6日(金)

○『芸術を巡る哲学-写真と映画』
「写真とひと-『ひと』概念の再構築を巡って」
パネリスト:多賀茂(京都大学人間環境学研究科准教授)、三脇康生(精神科医、美術批評家、仁愛大学准教授)
日時:2009年2月8日(日)

○『アート・プロジェクトの可能性』
「プロジェクトが生み出すモノ」
パネリスト:芳野明(本学准教授、美術理論・美術史、元AtoZ実行委員)、倉山裕昭(本学講師、メディア・アート、桐生再演参加アーティスト)
日時:2009年2月12日(木)

博物館・ギャラリー報告

博物館・ギャラリー企画展報告

●めぐるめぐるファンタジー
絵本とその原画展
本学、生涯学習「絵本」講座の受講生14名が制作した絵本の原画を展示しました。
会期:2009年1月25日(日)～2月1日(日)
会場:附属ギャラリー

●見えない未来に殴り込め
《美術!生きのこり塾。の展示と講演会》
「美術!生きのこり塾。」主催により、卒業生を含め25名の若手作家の作品展示と講演会が開催されました。

会期:2009年2月11日(水)～23日(月)
会場:附属ギャラリー

●2008年度 生涯学習講座
受講生作品展
2008年度生涯学習講座(ものづくり講座を中心)の受講生作品を展示しました。
会期:2009年3月3日(火)～3月8日(日)
会場:附属ギャラリー

インフォメーション

平成21年度生涯学習講座 受講生募集中!

今年で7年目を迎える「生涯学習講座」は、日本画や洋画等のものづくり講座を中心に、外国語会話や各種文化講座、そして子供講座まで幅広い内容で全66講座をご用意しています。今年度の新講座として、本格的な技法を用いて制作する「銅版画」や、中国から伝来した漢字の原点とも言うべき篆書を元に、基本に則り現代的な作品に挑戦する「篆刻」などを開講致します。また、従来からの日本画や洋画等の講座も充実を図っています。講座の詳細は本学HP(裏表紙参照)をご覧ください。(ご希望の方には、パンフレットを無料でお送り致します)

※お申込受付中。受付は先着順で、定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

【講座詳細】
<http://www.kyoto-saga.ac.jp>をご覧ください。HPからのお申込も可能です。
【パンフレット請求・お問い合わせ先】
〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 京都嵯峨芸術大学 文化事業部内「生涯学習講座係」まで
TEL:075-864-7898
FAX:075-882-7770
E-mail:bunka@kyoto-saga.ac.jp